

団体名	ソフィア倶楽部							
事業名	食の多文化共生・留学生とつくるグローバルフード in Ehime							
実施期間	2016年5月1日～2017年1月31日							
場 所	松山市ロープウェイ街・双海町・久万高原町							
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	17	11	10	9	6	2	20,000	20,055

<実施内容>

留学生・日本人学生・地域住民が専門家の指導の下、食品加工所見学(伊予市・久万高原町)などワークショップを行い、愛媛の食材を利用したグローバルなメニュー作りを行いました。国籍・宗教に関係なく提供できるメニューです。松山城ロープウェイ商店街の「門前まつり」では、試食バザーも行いました。また、食文化の理解のための冊子も作成、県や市の国際交流センターなどで配布しました。

<記録写真>



双海町でじゃこ天体験ツアー。



グローバルなお弁当作り。



門前まつりで販売しました。

<参加者からのコメント>

ファドリさん(マレーシア) / Fadhli Syahrial

愛媛に留学して、マレーシアと愛媛との交流を推進したいと考えるようになりました。食文化の違いはありますが、マレーシアの人たちにも愛媛の食を楽しんでもらえると思いました。料理の実習も、普段できないことなので勉強になりました。将来、マレーシアで愛媛の食を紹介する料理教室などもできたらと思っています。

三浦由佳さん(松山大学薬学部学生)

グローバルフードを作ろう!!とのユニークなテーマのもとに引き寄せられて参加しました。インドネシアやネパールの方と一緒にどうコミュニケーションをとればよいのやら不安でしたが、彼らの日本語力が高かったので杞憂に終わりました。実際にピザを作ったり、待ち時間にお庭で遊んだりすることに国境はなく、同じように楽しめてよかったです。実は苦手なじゃこ天も手作りするととても美味しく感動しました。地元のものの良さと再発見できた気がします。また、日本の技術は機械系だけではなく農業も海外から注目されていると初めて知りました。よそからの視点が入ることで、今ここにあるありがたみを感じることができました。